

ガジュマルの聲



＜教育目標＞
『豊かな未来を拓く
児童の育成』

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

心を見つめる教育週間(6/19~23)

6月19日(月)～23日(金)、「富っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました。1週間でのべ156名の方々に御来校いただきました。御多用の中御来校いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。

今年度は、コロナ禍のために中断していた「ぼっかぼかの会読み聞かせ」と「ふれあい祭り」を4年ぶりに実施しました。教育週間の概要をお知らせします。

1. 全校朝会で伝えたこと

富江小学校の子供たちを見ていると、「もっと自分を大切にしてほしいな」と感じることがあります。最近読んだ本の中に、「人は生まれてきたら、最低一人は幸せにしなければならぬ。それは、自分自身である。」という一節がありました。これを踏まえて、次のような講話をしました。

1. 自分を大切にできない人は、人に優しくできない。
2. 自分を大切にするために、まずは次のことをしっかりやろう。

- ①ご飯をしっかり食べる
- ②早寝早起き→ぐっすり眠る
- ③脳に悪いこと(ゲーム等)は、ほどほどに

3. 「ちくちく」な口癖を減らし、「ふわふわ」な口癖を増やそう

私なりに精一杯想いを込めて語りましたが、子供達に届いたかどうか。今後も機会を設けて、語り続けたいと思います。

2. 「ぼっかぼかの会」読み聞かせ

6月20日(火)、「ぼっかぼかの会」の皆様が5名来校され、1～3年生に絵本や紙芝居の読み聞かせをして下さいました。絵本の内容の面白さや、巧みな語り口に、子供達は夢中になって絵本の世界に引き込まれていました。体育館に、素敵な笑顔が広がりました。



2. ふれあい祭り

6月23日(金)のふれあい祭りには、老人クラブの皆様50名に御来校いただきました。

老人クラブの皆様の優しいまなざしの前で、運動会の時よりも笑顔で元気よく踊りを披露する子供達の姿が印象に残りました。「新富江音頭」を老人クラブのお手本を真似ながら一緒に踊り、第一部を終了。

第二部では、5年生が「ペタンク」で交流。1・2年生は「けん玉、おはじき、ビー玉、お手玉、あやとり、こま」を教えいただきながら、交流を深めました。

第三部では、子供達手作りのうちわをプレゼントし、花のアーチを笑顔でくぐりながら退場される皆様をお見送りして、会が終了しました。



ふれあい祭り終了後、老人クラブの方々から、感想やお礼のお電話・お手紙をいただきました。

- 子供達が健やかに育っている。
- お礼の手紙をもらったが、丁寧な文字で書かれていて感心した。
- 子供達の笑顔が可愛らしかった。 等

心温まるメッセージに、「実施してよかった」と思いました。コロナ禍を乗り越えて、今後は様々な「心の交流」ができる体験活動を充実させていきたいと思っています。